

# 環境報告に対する第三者審査

環境情報の信頼性・網羅性の向上のために2004年度より第三者審査を受審しています。保証対象部分に審査マーク(🔍)を表示しています。本年度の審査の結果、サステナビリティ情報審査協会の環境報告審査・登録マーク\*の付与が認められました。これは、「クボタグループCSR報告書2010」に記載された環境情報の信頼性に関して、サステナビリティ情報審査協会「<http://www.j-sus.org/>」の定めたサステナビリティ報告審査・登録マーク付与基準を満たしていることを示しています。  
(※ 同マークを裏表紙に掲載しています。)

## 工場往査




久宝寺事業センター



クボタシーアイ(株) 小田原工場




京葉工場船橋事業所



**独立した第三者による保証報告書**

2010年5月27日

株式会社クボタ  
代表取締役社長 益本 康男 殿

株式会社 新日本サステナビリティ研究所  
代表取締役 **中込 昭弘** 

**1. 保証業務の対象及び目的**

当研究所は、株式会社クボタ(以下、「会社」という)の委嘱に基づき、平成21年4月1日から平成22年3月31日までを対象期間として、会社が作成した「クボタグループCSR報告書2010」(以下、「CSR報告書」という)に記載されている会社及び主要子会社の環境会計情報及び重要な環境情報\*1(以下、「環境パフォーマンス指標」という)に関し、CSR報告書の作成基準\*2に従って正確に測定、算出され、かつ、重要な事項が漏れなく開示されているかどうかについて、保証業務を実施した。CSR報告書の作成責任は会社の経営者であり、当研究所の責任は独立の立場から環境パフォーマンス指標に対する結論を表明することにある。

\*1 重要な環境情報は、「環境報告審査・登録マーク付与基準」(サステナビリティ情報審査協会 平成21年4月)が規定する情報を指す。  
\*2 CSR報告書の作成基準は、「環境報告ガイドライン2007年版」(環境省 平成19年6月)及び「サステナビリティ・レポート・ガイドラインVer.3.0」(Global Reporting Initiative 2006年10月)(以下、「GRIガイドライン」という)を基とし、開示の対象となる重要な情報の特定については「環境報告審査・登録マーク付与基準」に従っている。

**2. 実施した保証業務手続の概要**

当研究所は、「国際保証業務基準3000(改訂)～過去財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務」(国際会計士連盟 2003年12月)、及び「サステナビリティ情報審査実務指針」(サステナビリティ情報審査協会 平成20年2月)に準拠し、限定された手続\*3を実施した。したがって、当研究所の実施した業務は、合理的保証業務に比較してより限定的な保証を与えるものである。

\*3 定量的な情報については、主として、情報の収集過程、集計方法の把握・評価、分析手続の実施、数値による証拠資料との突き合わせ・照合、再計算等を実施した。また、定性的な情報については、主として、質問、関連する記録の閲覧等を実施した。

**3. 結論**

当研究所が実施した保証業務において、上記の環境パフォーマンス指標についてCSR報告書の作成基準に従って正確に測定、算出されていない、または「環境報告審査・登録マーク付与基準」に従って重要な事項が開示されていない、と信じさせる事項はすべての重要な点において認められなかった。

**4. 独立性**

会社と当研究所の間には、サステナビリティ情報審査協会の「倫理規程」に定められる利害関係はない。

以 上



## WEBサイト掲載情報一覧

<http://www.kubota.co.jp/csr/report/r2010.html>

WEBサイトにて「クボタグループCSR報告書2010」冊子版に掲載できなかった詳細情報を掲載しています。

|       | 冊子掲載情報                | 冊子ページ      | WEBサイト掲載情報  |
|-------|-----------------------|------------|---|
| CSR経営 | CSR経営の基本              | P17        | ●コンプライアンス ●コーポレートガバナンス ●内部統制システム  |
|       | 製品安全と優れた品質            | P26        | ●ISO9001取得状況  |
|       | 法令遵守活動・コンプライアンスの推進    | P27        | ●消防訓練等の実施 ●安全運転講習会の実施<br>●他社知的財産権侵害未然防止活動の実施 ●個人情報の保護<br>●大阪府暴力追放推進センターから表彰 ●情報セキュリティ対策の強化                          |
|       | 社会性報告                 |            |   |
|       | 活気に満ちた職場づくり           | P30        | ●人事に関する方針と人事制度<br>●次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画の推進<br>●ダイバーシティ・マネジメントの推進  |
|       | 国際社会への貢献と社会・文化支援活動の充実 | P31<br>P33 | ●「日中友好の声・日本語中国語弁論大会」に協賛<br>●「ふるさとの田んぼと水・子ども絵画展」に協賛<br>●障害者週間行事「大阪ふれあいキャンペーン」に協賛<br>●従業員による集団献血を実施 ●インド補修授業校で農業教育を実施 |
|       | IR活動と企業情報の発信          | P34        | ●主なWEBコンテンツ ●外国人株主比率  |
| 環境報告  | クボタグループの事業活動と環境負荷の全体像 | P37        | ●主要な環境指標の推移 ●環境経営対象グループ会社の拡大 ●サイトデータ  |
|       | 環境マネジメント              | P38        | ●環境管理推進体制 ●環境リスクマネジメント ●環境関連教育 ●環境会計<br>●グリーン購入・グリーン調達 ●ISO14001認証取得 ●環境配慮製品  |
|       | 地球温暖化の防止              | P39        | ●CO <sub>2</sub> 関連データ ●換算係数  |
|       | 循環型社会の形成              | P40        | ●資源循環関連データ  |
|       | 化学物質の管理               | P41        | ●PRTR集計結果 ●地下水管理状況  |
|       | 環境報告に対する第三者審査         | P43        | ●環境パフォーマンス指標算定基準  |